

農委広報 いいで

No.39

〒999-0696
山形県西置賜郡飯豊町大字椿2888番地
飯豊町農業委員会事務局
TEL : 0238-87-0525 (直通)
FAX : 0238-72-3827



目 次

- ◆ 農業委員会会長就任のごあいさつ
退任された農業委員・推進委員紹介…………… P2
- ◆ 農業委員と農地利用最適化推進委員の抱負…………… P3
- ◆ 中部地区地域交流食堂を開催しました!!…………… P4
- ◆ 山形県農業委員会大会への参加と視察研修…………… P5
- ◆ がんばっています！若手農業者…………… P6
- ◆ 飯豊町地域農業を支える担い手支援事業／
令和8年度一斉農地パトロール行います！…………… P7
- ◆ 農業者年金／全国農業新聞購読の案内／
事務局体制／事務局職員人事異動／編集後記… P8

任期満了に伴い、新たな体制でスタートする飯豊町農業委員会の農業委員10名と農地利用最適化推進委員10名の皆さんです。

任期は、令和8年7月20日～令和11年7月19日までの3年間です。農地に関する相談や質問は農業委員会事務局と地元選出の各委員にご相談下さい。3年間よろしくお願い致します。

農業委員会会長就任のごあいさつ

飯豊町農業委員会 会長

長岡 賢市（中）



初秋の候、残暑が続きますが、皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。また、常日頃より農業委員会の活動につきまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。このたび農業委員会は7月19日の任期満了に伴い、7月24日新体制の委員への辞令交付式、並びに総会が取り行われ、その中で農業委員の皆様の推薦を受け農業委員会会長と言う大役をお受けすることになりました。よろしくお願いいたします。

またこのたび任期満了で退任された皆様には、地域計画や農地パトロールなど多様な活動にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。大変お疲れ様でした。

農業委員会は「農地を守る」と言う大前提のもと活動しております。新たな取り組みとして、タブレット端末を活用したペーパーレスによる総会の開催、農地パトロール等におけるスムーズな検索と情報入力を行っています。また、女性農業委員の積極的な活動による参加型のイベントが増加の傾向にあります。直近では、米価の下落が懸念されるなど、様々な課題に直面しています。これまで諸先輩の方々から指導いただいた経験を生かし、新体制の農業委員と農地利用最適化推進委員、そして事務局が一丸となり、職務に邁進していきたいと考えておりますので、今後とも皆様の一層のご協力とご支援をお願い申し上げます。就任の挨拶とさせていただきます。

退任された農業委員・

農地利用最適化推進委員の

みなさま

■農業委員

手塚 康博（萩生）

1期3年（R5～R8）

他 推進委員

1期3年（R2～R5）

二瓶 幸浩（小白川）

3期9年（H29～R8）

巻坂 藤博（手ノ子）

1期3年（R5～R8）

安部 数幸（中津川）

6期18年（H20～R8）

■農地利用最適化推進委員

伊藤 重徳（中津川）

3期9年（H29～R8）

他 農業委員

3期9年（H11～H20）

任期中、たいへんご苦労様でした。

新たな体制で飯豊町の農地を守り、担い手と新規就農者の確保に頑張ります。 農業委員と農地利用最適化推進委員の抱負

農業委員



長岡 賢市 (中)

飯豊町をはじめ地域の為に3年間頑張りたいと思います。



渡部 晃子 (中)

地域の農業を守り、安心して農業が続けられるよう活動していきます。



嶋貫 正昭 (萩生)

農業を取巻く環境が厳しいなか、皆様からご指導をいただきながら農地の適正利用、活性化に向けて精一杯努めてまいります。



後藤 恵美子 (萩生)

大変厳しい農業情勢の中で、農業が果たす役割を再確認して地域農業を守り、次の世代の農業へと繋げる様に各委員と力を合わせ頑張っていきたいと思っています。



渡部 由美子 (黒沢)

地域の皆さんとのつながりを大切にし、生産者の声に耳を傾けながら、農地の保全と、地域農業の発展に努めてまいります。



齋藤 祐一 (椿)

地域の農業のために頑張っております。



遠藤 智行 (添川)

飯豊町の農地・農業が、よりよくなるように努力します。



高橋 賢治 (小白川)

後継者不足、離農が増えて行く現在、皆さんと最善策を目指して行きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。



寒河江 正明 (高峰)

農業生産力の増進と農地等の利用の最適化に取り組みたいです。



伊藤 幸雄 (中津川)

農業をとりまく環境は、厳しい状況ではありますが本町の農地の集積・集約化や、耕作放棄地の解消など農地利用の最適化や地域農業の発展のために、努めてまいります。



山口 利行 (中)

農業委員の方と一緒に地域の農地と農業を守っていききたいと思います。



宇津木 耕一 (萩生)

二期目になります。出し手、受け手を繋いでゆきます。



横澤 謙次 (黒沢)

農地の移動を希望にそえる様に努力したい。



後藤 康則 (椿)

3期目となりますが、引き続き地域の皆様にご指導ご鞭撻いただきながら、農業委員とともに職務を頑張ります。



堀越 進吉 (添川)

後継者不足ではありますが地域の皆様のご協力を頂き、農地を守るため努めてまいります。



佐藤 武雄 (添川)

引き続き推進委員になりましたのでよろしくお願い致します。



舟山 善之 (小白川)

地域の方々のご意見を伺いながら推進員の職務に努めてまいります。



鈴木 明弘 (手ノ子)

農地利用最適化推進委員として耕作放棄地が少しでも減少する様、頑張ります。



高橋 孝 (高峰)

微力ながら務めさせていただきます。ご協力、お願い致します。



伊藤 忠 (中津川)

精一杯頑張ります。

農地利用最適化推進委員

飯豊産牛乳づくりメニュー！ 中部地区地域交流食堂を開催しました！！

食を通じた地域交流や町内農産物の消費拡大を目的として、令和8年3月29日(日)に中部地区まちづくりセンターで「地域交流食堂」を開催しました。地域交流食堂は、町内5カ所のまちづくりセンターで毎月企画・開催されており、今回は町内の女性農業者で組織する団体「アグリウーマンズ」と酪農組合女性部、女性農業委員が連携し、町内産の牛乳や農産物を使ったメニューを提供しました。メニューは【ガーリックバターライス、クリームシチュー、牛乳プリン、自分で作るバター】で、全てのメニューに町内産の牛乳を使用し、通常水を使うところも牛乳を使用するなど、牛乳づくりのメニューとなりました。町内産牛乳を使用したバター作りでは老若男女問わず空のペットボトルに牛乳と生クリームを入れ、一斉にペットボトルを振る様子はとても一体感があり、参加者の楽しそうな笑顔が見られました。出来上がったバターはクラッカーに付けてその場で食していただきました。参加した小学生は「牛乳と生クリームでバターが出来るなんて知らなかった。自分で作ったバターは美味しい！」と誇らしげで、とても満足した様子でした。調理時間も限られた中で、役割分担をして女性農業者皆が協力し、手際よく各メニュー50人分超を時間内に用意することができました。調理をする中で、女性農業者同士の結束も深まり充実した活動になりました。

(取材／農業委員 渡部晃子)



令和7年度 山形県農業委員会大会への参加と視察研修

令和7年11月5日、山形市 やまぎん県民ホールで開催された「令和7年度山形県農業委員会大会」に参加をして来ました。県内の農業委員、農地利用最適化推進委員、約700名の参加の元開催され、開会行事の後「最近の農業情勢と地域計画の実行・ブラッシュアップに向けた農業委員会活動」と題して、一般社団法人全国農業会議所植田事務局長より講演があり各地域で策定された計画実行の大切さや、年度ごとのブラッシュアップの必要性を語られておられました。

続いて活動事例報告では、県農業会議の要請を受け飯豊町農業委員会が発表に立ち「一般社団法人ふぁ～むなかつがわの取り組みについて～未来へ農地を守り地域農業を守る」と題して、当町中津川地区に於ける「地域まるっと中間管理方式」を用いた地域営農を展開するまでのプロセスや、現在の状況などを報告させて頂きました。最後に大会宣言として本年度は、農業現場の実情や意見をより一層反映させる事が出来るよう、各市町村の農業委員会と農業者と意見交換会等で集約された意見の提出がなされ、満場の拍手によって賛同され閉会となりました。



6日には視察研修として、福島県猪苗代町美祢地区に於いて活動をなされている「美祢結乃村未来協議会」にて研修を行いました。当協議会は地域の担い手がリーダーとなって集落営農組織を立ち上げ、農家レストラン運営で所得向上を図るとともに生活支援活動を実施、複数の営農組合、農



事組合法人など地域内組織を束ね、平成29年に設立されました。以前、飯豊町での講演や認定農業者協議会の視察先でもあった事などから私自身三度目の研修となり、初めの頃は凄いだけの印象を受けた覚えがありましたが、今回は町内でも農村RMO実施の計画が予定されていることなどから現在の活動の様子や経年変化による設立当初からの変更された事柄について関心があり、大変有意義な研修となりました。

(農業委員 安部数幸)

シリーズ

がんばって
います!

若手農業者

今回紹介するのは、平成27年に会社を退職して就農した中地区の長岡悠平さんと麻衣さんご夫妻です。



渡部

家族構成を教えてください。

悠平

私たちの他に9歳と4歳の男の子2人の4人家族です。

渡部

就農する前の職業は何だったのでしょうか。

悠平

建設業で、長井ロードカッターに勤めていました。

麻衣

保育園で保育士をしていました。

渡部

農業をやりたいと思った理由や就農することになったきっかけは何だったのでしょうか。

悠平

建設業で起業しようとしていたと

きに母が亡くなり、父が寂しそうに田植をしていたのを手伝ったのがきっかけです。

麻衣

勤めに出ていたのが私だけで、家族みんなが楽しそうに話していたり、「いつてらっしゃい」と見送られるのがイヤで、「私もみんなと一緒にいたい」と思ったのがきっかけです。

渡部

野菜は何を栽培していますか。

悠平

ピーマンはハウスで大小12棟とねぎは96a、ほうれん草とわさび菜は冬季節栽培しています。

渡部

今、苦労していることや農業をやってみての思いをお聞かせください。

悠平

パートさん等の雇用をしているので労務管理が難しいです。失敗もたくさん経験して苦労も多かったのですが、少しは経営者として知識を積めることができたことは良かったと思います。経営者として計画通りにうまくいった瞬間に喜びを感じています。

麻衣

パートさんに対して的確な指示、アドバイスをすることです。収穫、選別のスピードだったり、その中でどう動くか、どうした

ら出来るようになるのか考え伝えるのが大変です。

渡部

麻衣

まだ小さなお子さんがいて農業との両立が難しいですか。

渡部

難しいです。帰りが遅くなったり、朝仕事をしたりすることもあるのですが、子供たちに我慢させている部分があるのかもしれませんが、子供たちと一緒にいれる時間は大切に全力で関わっています。

渡部

最後に、今後の抱負をお聞かせください。

悠平

ピーマン大王になってピーマンの産地を作りたいです。

麻衣

仕事もプライベートも全力で過ごしていきたいです。

渡部

忙しい中、取材に応じていただきありがとうございます。これからも目標に向かって頑張ってください。

(取材／農業委員 渡部晃子)



飯豊町地域農業を支える担い手支援事業

いいでめざみの里応援寄附金（ふるさと納税）活用事業

飯豊町の農業を支える農業者の営農継続に必要な**農業用機械・施設の導入**や簡易的な**土地基盤整備**を支援します。

補助率	1/3 以内	補助上限額	100 万円以内
------------	--------	--------------	----------

対象者

次の（１）～（３）のうちいずれかに該当するもの
 （１）認定農業者・認定新規就農者のうち次のいずれかに該当するもの
 （ア）経営面積が 10ha 未満であること。
 （令和 8 年度に国庫事業の採択を受けているものを除く。）
 （イ）令和 8 年度に国庫事業に要望し、採択を受けていないこと。（面積要件なし）
 （２）地域計画に位置付けられている農業者（認定農業者・認定新規就農者を除く。）
 （３）受益者が 2 戸以上で構成される農業者団体
 集落営農組織、機械利用組合、任意組織（規約が定められているもの） 等

対象となる農業用機械・施設

生産・加工・流通・販売等に係る農業用機械・施設、簡易的な土地基盤整備

- トラクター、田植機、コンバイン等の農業用機械
- 乾燥調製施設（乾燥機、粳摺機等）等の施設
- ビニールハウス 等
- 畦畔除去、暗渠排水等の土地基盤整備



申請期間

令和 8 年 7 月 30 日（木）～令和 8 年 8 月 21 日（金） 期限厳守

問合せ

役場農林振興課 農業振興室
 電話番号：0238-87-0525
 E-mail：i-nouqyo@town.iide.yamagata.jp

令和8年度一斉農地パトロール行います！

日時

8/25（火）13：30～

場所

町内全域（大字単位）



今年度も一斉農地パトロールを行います。

農地の利用状況について特に自己保全の農地の状況や耕作放棄地の状況について調査致します。また、農地への車庫や農作業小屋の建設、農地への駐車場の造成など違反転用がないかも合わせて調査します。

パトロール終了後取りまとめを行い、周囲の農地と比べ著しく荒廃している場合は、農地の利用状況調査の文書を送付しますので、届いた場合は回答下さるようお願い致します。

農家の経営と暮らしに 役立つ情報をお届けします。

農家のための
情報誌
「全国農業新聞」

- 発行日：毎週金曜日
- 発行元：全国農業会議所
- 購読料：1ヶ月900円
(送料込)



お申し込み先

飯豊町農業委員会事務局
☎0238-87-0525

◆事務局体制

事務局長	上田 信幸
局長補佐	菅野 邦彰
主 査	孫田 智子
主 事	遠藤 貴幸
主 事	桐生 竜也
主事補	鈴木 慎
主 任	大谷部良明
会計年度任用職員	山口 浩世
会計年度任用職員	安仲 智浩

◆事務局職員人事異動

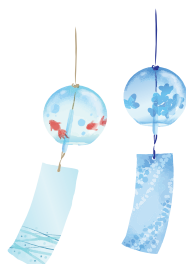
〈転入〉

菅野 邦彰（総務課防災管財室から）
よろしくお願いします

〈退職〉

大城 陽子
大変お世話になりました

◆広報委員会メンバー
◎遠藤 智行
○渡部 晃子
安部 数幸
二瓶 幸浩
齋藤 祐一
(◎委員長○副委員長)



国が支える。安心が大きくなる。 農業者年金

6つの特徴があります。

- ・あなたの老後生活への備えは十分ですか？
- ・年金は家族一人ひとり準備することが大切です！
- ・老後の備えは国民年金プラス農業者年金が基本です！
- 1 農業者なら広く加入できます。
- 2 少子高齢時代に強い「積立型・確定拠出型」の年金です。
- 3 通常加入の場合、保険料の額は自由に決められます。
- 4 終身年金、80歳前に亡くなられても遺族の方に対し死亡一時金があります。
- 5 一定の要件を満たす農業者には保険料の国庫補助（政策支援加入）があります。
- 6 税制面で大きな優遇措置があります。

問合せ先

飯豊町農業委員会事務局
☎0238-87-0525

農地法許可申請締切日 (農地に関する申請)

【総会開催予定】

許可申請書締切日	総会予定日
8月10日(月)	8月25日(火)
9月10日(木)	9月25日(金)
10月13日(火)	10月26日(月)
11月10日(火)	11月25日(水)
12月10日(木)	12月25日(金)
1月12日(火)	1月25日(月)
2月10日(水)	2月25日(木)
3月10日(水)	3月25日(木)

※各種許可申請等は、上記の締切日までご提出ください。

編集後記

農業委員会は、7月19日で任期満了となり7月20日から新たなメンバーでの活動となりました。全員で力を合わせ先行きの見えない農業に立ち向かっていきます。飯豊町の農業が少しでもよくなるよう頑張っていきますので今後とも皆さんのご協力をお願い致します。
(広報委員長 遠藤智行)